

	チェック項目	達成度	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	A	適切な広さは確保できている。夏休み等で利用人数が多い時も利用児同士がぶつからないよう配慮することができている。
	2 職員の配置数は適切であるか	A	適切である。1対1の対応ができている。
	3 事業所の整備等について、バリアフリー化の配慮が適切にされているか	A	教室の入り口はスロープになっており、トイレや廊下には手すりを付けておりバリアフリーになっている。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	A	職員間で決めていた約束(いつ何をするか等)を忘れないようにするため、マニュアルを作成している。
	5 保護者向け評価表を活用する等により、アンケート調査を実施して保護者の意向等を把握し、業務改善につなげているか	A	保護者のご意見を把握し、改善策を考えている。
	6 この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	A	公開している。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	B	実施していない。施設で検討を行う。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	A	全スタッフが年1回以上個別に研修を受けられるように調整している。 施設内で行われる研修には、当日参加できなくても、後程資料やビデオなどで全員が確認をしている研修の内容を報告することで、職員間でのスキルアップに繋げている。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	A	事前に保護者に日頃の様子について記載してもらい、面談で細部を確認しニーズを把握している。また、アセスメントが適切か他職種で分析している。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	A	実施している。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	A	療育担当職員が他の職員の意見を聞き活動プログラムの立案を行っている。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	A	前年度の活動計画や職員で意見を出し合ったものを参考に毎月の活動計画を作成している。 達成の程度を評価するために、固定化して行う活動もあるが、利用児の発達や特性、季節・天候なども踏まえて活動計画を作成するようにしている。

適切な支援の提供	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに対応しているか	B	平日、長期休暇に応じたスケジュールを立て計画的に対応している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	A	児童のニーズに応じて、個別活動と集団活動を組み合わせている。 集団活動が多いが、必要に応じて個別の時間をとっている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	A	療育担当で起案した内容を他の職員に伝え、工夫できる点がないか、注意点などを確認している。 その日の活動に応じて、目的などを確認している。 どのように進行していくか、配慮点等話し合うことができている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	B	業務終了後に振り返りや意見交換を行っているが、全員揃うことが難しい場合は、次の日の朝のカンファレンスで話し合いの場を持つようにしている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	A	日々の記録で支援にあたっての留意点を毎回記入し、検証・改善策を話し合っている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	A	定期的にモニタリングを実施し、サービスの見直しにつなげている。	
	19	ガイドライン総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	B	ガイドラインを十分に理解できるように取り組みなどを検討している。	
	関係機関や	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	A	担当者が参加し、必要があれば、機能訓練担当職員、児童発達支援管理責任者が参加することもある。
		21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	A	年間、月間予定の確認、下校時刻の確認、送迎待機場所等を事前に確認、調整している。 特別支援学級在籍の児童は送迎時、申し送りを受けている。 トラブル発生時は速やかに当施設と連絡を取り、対応を確認している。
22		医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	A	保護者を通して主治医の指示などの申し送りを受けている。 1週間以上の長期入院後、利用再開される際は医師の情報提供書を提出頂いている。	
23		就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	B	児童発達支援事業から引き続き利用される児童に関しては、連携を取っている。新規利用者についても、必要であれば保護者に承諾を得て行っている。	

保護者との連携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	A	療育情報提供教書を作成している。利用終了後、他事業所を利用される方には療育情報提供書を作成している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	B	必要に応じてしている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	C	隣接する託児所の子どもや利用児の兄弟児と関わる機会がある。今後、保護者のニーズがあれば検討していく。
	27	(地域自立支援)協議会などに積極的に参加しているか	A	定期的に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	A	登園、降園時に毎回申し送りを行っている。できていた点や家庭で取り組んでいただきたい点についてお伝えしたり、家庭での様子もこちらから尋ねるようにしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	B	相談があれば情報提供を行うなど、個別に対応している。
	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	A	契約時に、文書を交付し口頭で説明を行っている。
	31	保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	A	面談時以外には、申し送り時等に受けることが多いが、スタッフからも尋ねたり、保護者の表情を見て話を聞くようにしている。別途時間を取って対応することもある。個々に対応することが難しい場合は上司に報告し、必要であれば、他の専門機関とも連携し支援を行っている。
保護者への説明責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者の会等を開催すること等により、保護者同士の連携を支援しているか	A	懇親会を開催し、スタッフや保護者同士の交流の機会を設け、実施している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	A	苦情受付担当、第三者委員他定め、契約時に周知している。また、実際に苦情があれば、速やかに上司に報告し、実態の把握に努め、対応を図っている。
	34	定期的に会報などを発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子供や保護者に対して発信しているか	A	年間予定他、施設広報誌、通所事業ごとの便りを毎月発行し配布している。また、必要であれば随時臨時のお知らせを発行している。
	35	個人情報に十分注意しているか	A	個人情報の取り扱いについて明文化し、契約時に確認している
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	A	重要な事項については、文書や絵を用いて伝えている。また、スタッフに手話を習得している者がいる。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	B	放課後等デイサービス独自ではないが、若楠療育園の行事では案内をしている。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	A	マニュアルは策定されている。緊急時、感染時の対応については契約時に文書を交付し、口頭で説明している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	A	月に1回防災訓練日を設け、避難・誘導・消火訓練等を計画的に行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	A	施設で職員研修会を実施している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	A	契約時に、個別の身体拘束説明書を交付し口頭で説明を行っている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	A	医師の指示のもとに食事箋を処方し、給食を準備しています。また、アレルギー情報については契約時に保護者より確認を行い、クッキング活動等を実施する際に毎回保護者へ確認を行っている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して、事業所内で共有しているか	A	いつでも確認できるようにしている。 ヒヤリハットに気付いたら、すぐに報告できるようにBOXを置いている。 ヒヤリハットやアクシデントがおきた時は、レポートにて報告し、改善点を話し合い、注意していく事で意識を高めている。